

---

# 第11回モニタリング会議 ご説明資料 (2017年4月～6月業績報告)

2017年9月5日



1. 計画と実績の対比	p.3
□ 全社PL	
□ 路線バスPL	
□ 軌道PL	
2. 公共交通利用状況	p.6
□ 路線バス	
□ 軌道	
3. 公共交通取組状況	p.8
4. 公共交通に関する設備投資の実施状況	p.9

## 計画と実績の対比（全社PL）

## 全社の事業再生計画 第3期(2017年4月～6月)実績は、以下のとおりです

※事業再生計画の財務数値は、「とさでん交通」と「とさでんトラベル(旅行業)」との合算

単位：百万円

	2017年度 12ヶ月 計画①	2017/4～6月 第1四半期 実績②	進捗率 ②÷①	2016/4～6月 第1四半期 前年実績	前年 同期比
売上高	5,544	1,457	26%	1,458	100%
売上原価	577	191	33%	195	98%
差引収益	4,967	1,266	25%	1,262	100%
人件費	2,545	624	25%	603	104%
厚生費	302	86	28%	82	104%
動力費	529	91	17%	82	111%
修繕費	303	61	20%	72	85%
物件費	108	23	21%	22	103%
経費	1,010	256	25%	238	108%
諸税	105	19	18%	18	102%
減価償却費	473	120	25%	112	107%
営業費計	5,375	1,280	24%	1,230	104%
営業利益	-408	-14	-	33	-
営業外収益	56	37	66%	36	104%
営業外費用	70	21	30%	27	77%
経常利益	-422	2	-	41	6%
特別利益	513	50	10%	8	627%
特別損失	23	9	39%	34	26%
税引前当期利益	68	44	64%	15	291%
法人税等	17	0	-	0	-
当期純利益	52	44	84%	15	291%

## ＜事業再生計画比＞※第1四半期につき進捗率25%と比較

・売上高、差引収益はほぼ計画どおりの進捗。軽油単価が計画比低位推移し、路線・高速・貸切バス等の動力費が低減。営業利益は赤字であるが、計画を上回る進捗。

## ＜2017年4月～6月第1四半期の概況＞

- 売上高は1,457百万円となり計画に対する進捗率26%
- 売上原価は旅行事業部門の要因により増加し進捗率33%となったが、差引収益は1,266百万円となり計画に対する進捗率25%
- 営業費は軽油単価の低位推移などにより、計画に対する進捗率24%
- 営業外収支は、業務委託料・有価証券配当増で16百万円のプラス
- 特別損益は、有価証券売却益・事業再生関連費用等を差引し、41百万円のプラス
- 第1四半期経過時点の当期純利益は44百万円の黒字計上

## ＜対前年同期実績比＞

- 売上高は前年同期実績並み
- 営業費用は、前年同期実績比で人件費・動力費等を中心に増加
- 営業利益、経常利益ともに前年同期実績比で減益、当期純利益は増益

## ＜経費科目説明＞

動力費・・・軌道動力費・バス軽油費等 修繕費・・・軌道、バス事業における各種修繕等 物件費・・・水道光熱費・備用品等  
 経費・・・賃借料・借地料・広告宣伝費・道路使用料等 諸税・・・固定資産税・自動車税等 減価償却費・・・固定資産償却・のれん代償却  
 営業外収益・・・受取配当金・業務委託料等 営業外費用・・・支払利息等 特別利益・・・補助金等 特別損失・・・事業再生関連費用等

## 計画と実績の対比（路線バスPL）

路線バス事業の2017年4月～6月実績の専属営業損益は、以下のとおりです

単位: 百万円

	2017年度 12ヶ月 計画①	2017/4～6月 第1四半期 実績②	進捗率 ②÷①	2016/4～6月 第1四半期 前年実績	前年 同期比
売上高	1,085	266	25%	284	94%
売上原価			-		-
差引収益	1,085	266	25%	284	94%
人件費	737	194	26%	190	102%
厚生費	84	26	31%	26	102%
動力費	189	33	18%	30	111%
修繕費	120	27	23%	29	93%
物件費	29	6	22%	5	132%
経費	164	44	27%	43	102%
諸税	25	6	24%	6	99%
減価償却費	99	25	25%	17	149%
営業費計	1,446	361	25%	345	105%
<b>専属営業損益</b>	<b>-362</b>	<b>-96</b>	-	<b>-61</b>	-
減価償却前専属営業損益	-263	-71	-	-44	-

## ＜計画差異要因等＞

- ✓ 売上高
  - スクール線の便数減少による減はあったが、ほぼ計画並みの進捗
- ✓ 費用
  - 人件費: 時間外手当増、人事制度改正による増
  - 厚生費: 人件費増、科目計上ルール変更による増
  - 動力費: 軽油単価の計画比低位推移
  - 経費: ですかシステム更新賃借料の増
- ✓ 専属営業損益
  - 動力費の低減はあるが、人件費の増などにより、計画を下回る進捗

## ＜前年同期差異要因等＞

- ✓ 売上高
  - 4月からのスクール線便数減少等による減
- ✓ 費用
  - 人件費: 時間外手当増、人事制度改正による増
  - 動力費: 軽油単価の上昇による増
  - 減価償却費: 車両更新等による増

## ＜科目計上ルール変更とは＞

- ✓ 計画上、嘱託社員等の人件費+厚生費を全て人件費計上していたが、実績は人件費と厚生費をそれぞれに分けて計上している

＜専属営業損益とは＞

- ✓ 本社費配賦前の事業別営業損益

## 計画と実績の対比（軌道PL）

軌道事業の2017年4月～6月実績の専属営業損益は、以下のとおりです

	2017年度	2017/4～6月	進捗率 ②÷①	2016/4～6月	
	12ヶ月	第1四半期		第1四半期	前年
	計画①	実績②		前年実績	同期比
売上高	1,000	261	26%	265	99%
売上原価			-		-
差引収益	1,000	261	26%	265	99%
人件費	560	143	26%	135	106%
厚生費	70	20	28%	19	106%
動力費	77	18	24%	17	107%
修繕費	46	8	17%	9	89%
物件費	22	6	26%	5	122%
経費	60	16	28%	15	110%
諸税	15	2	11%	2	93%
減価償却費	45	8	19%	13	66%
営業費計	897	222	25%	214	104%
<b>専属営業損益</b>	<b>103</b>	<b>39</b>	<b>38%</b>	<b>51</b>	<b>77%</b>
減価償却前専属営業損益	148	48	32%	64	75%

単位：百万円

### <計画差異要因等>

- ✓ 売上高
  - 計画を上回る進捗
- ✓ 費用
  - 人件費：時間外手当増、人事制度改正による増
  - 厚生費：人件費増・科目計上ルール変更に伴う増
  - 経費：ですかシステム更新賃借料、知寄町P&R賃借料等に伴う増
  - 減価償却費：車両等資産の償却減
- ✓ 専属営業損益
  - 専属営業損益は39百万円（進捗率38%）の黒字

### <前年同期差異要因等>

- ✓ 売上高
  - 運送収入・広告収入減
- ✓ 費用
  - 人件費：時間外手当増、人事制度改正等による増

-----

<科目計上ルール変更とは>

- ✓ 計画上、嘱託社員等の人件費+厚生費を全て人件費計上していたが、実績は人件費と厚生費をそれぞれに分けて計上している

<専属営業損益とは>

- ✓ 本社費配賦前の事業別営業損益

## 公共交通利用状況（路線バス）

## 路線バスの2017年4月～6月利用状況：運送収入は前年比93%、IC利用客数は前年比88%で推移

- 本表は運送収入のみ  
広告収入及び、補償金等の特殊要因が含まれる「運送雑収入」は含めていない

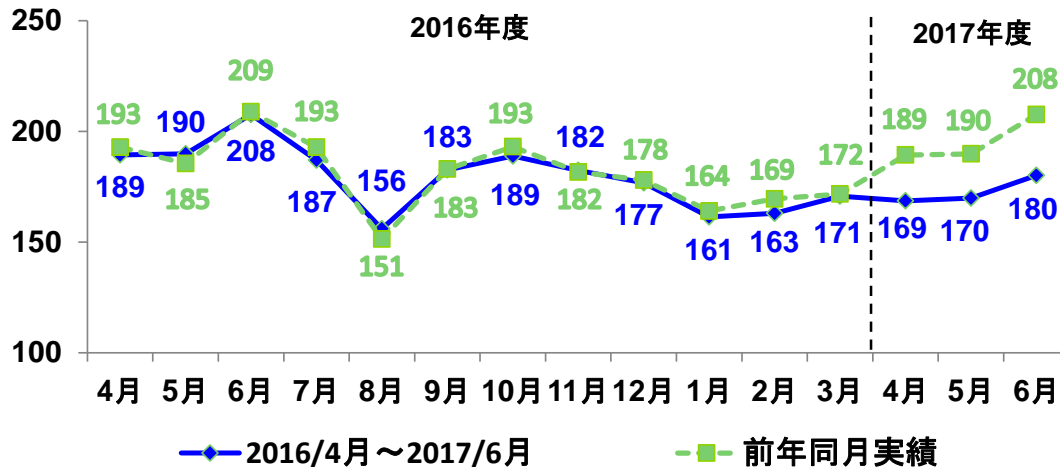
単位：百万円

	2016/4～6月	2017/4～6月	前年 同期比 ②÷①
	3ヶ月 前年同期①	3ヶ月 実績②	
運送収入	279	259	93%
①定期全体	63	53	84%
②定期外収入	215	206	96%
うち、現金収入	114	109	95%
うち、SF	101	97	96%

## ＜路線バス収入の増減要因＞

- ✓ 「ダイヤ改正による減キロ」  
2014年10月1日 △2.5%  
2015年10月1日 △0.6%  
2016年10月1日 △3.0%  
2017年4月1日 △1.5%
- ✓ 運送収入93%の要因は、2017年4月のスクール線の便数減少、及び通勤定期の減少傾向、雨天日が前年より9日少なかったこと、ダイヤ改正にともなう減キロ等が考えられる

## ＜利用客数推移＞ 単位：千人



## ＜利用客について＞

- ✓ 対前年同月比において、3ヵ月連続前年割れ
- ✓ 3ヵ月累計のICカード利用客数は519千人、前年同期は587千人にて、約12%の減
- ✓ 減少要因は、2017年4月のスクール線の便数減が主要因と考えられる

## 【スクール線の影響/前年比較】

- ✓ 運送収入 △9,000千円
- ✓ IC利用者 △54千人

- 利用客数は、ICカード「ですか」データに基づいており、現金などを除く
- IC使用率は約70%

軌道の2017年4月～6月利用状況：運送収入、IC利用客数ともに前年比99%で推移

- 本表は運送収入のみ  
 広告収入及び、補償金等の特殊要因が含まれる「運送雑収入」は含めていない

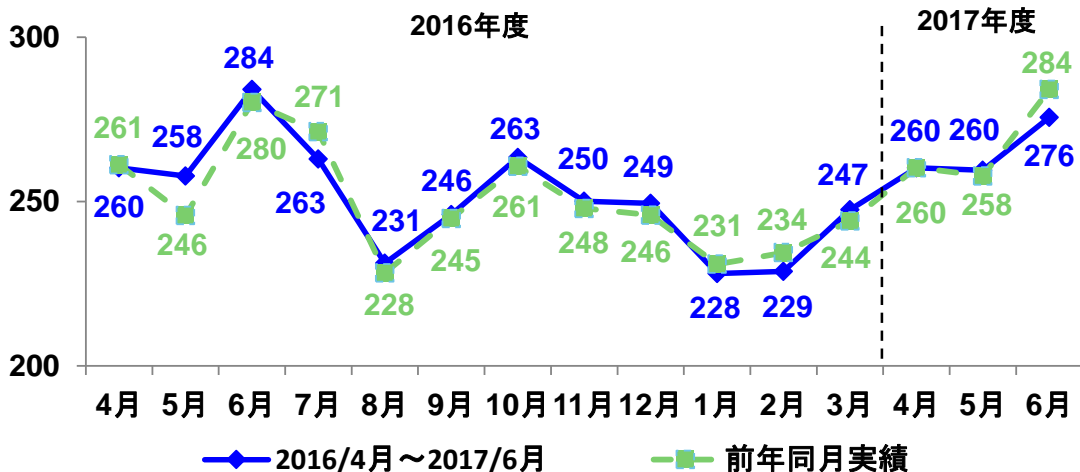
単位：百万円

	2016/4～6月 3ヶ月	2017/4～6月 3ヶ月	前年 同期比 ②÷①
	前年同期①	実績②	
運送収入	238	235	99%
①定期全体	66	66	100%
②定期外収入	171	169	98%
うち、現金収入	110	110	100%
うち、SF	61	59	96%

<軌道収入の増減要因>

- ✓ 運送収入はほぼ前年同期並み
- ✓ 「雨天日」4月：前年比±0日、5月：同▲3日、6月：同▲6日  
 （第1四半期累計で▲9日）。
- ✓ 雨天日が前年より9日少なかったことによるマイナスの影響はあったが、志国高知幕末維新博による観光客の入り込み、各種利用促進施策の取り組み等の効果もあり、ほぼ前年同期並みで着地したものとする

<利用客数推移> 単位：千人



<利用客について>

- ✓ 対前年同月比、4月は横ばい、5月は増加、6月は減少
- ✓ 3ヵ月累計のICカード利用客数は795千人、前年同期802千人に対し約1%の減
- ✓ 減少要因は、雨天日が前年同期比▲9日となったことが主要因であると考えられる

- 利用客数は、ICカード「ですか」データに基づいており、現金などを除く
- IC使用率は約50%

## 2017年度、路線バスと軌道の取組施策は以下のとおりです

内容	路線バス	軌道
<b>■2017年4月1日～6月末まで</b>		
1. 「バスこっち」データを活用した運行時分の見直し 4月	○	-
2. ローラー活動(横浜ニュータウン) 4月	○	○
3. 婚活電車の運行 4月	-	○
4. 電車の日イベント開催 5月	-	○
5. ローラー活動(鳥越・塚の原・口細山) 5月	○	○
6. 高校県体応援一日乗車券の販売 5月	-	○
7. 婚活電車の運行 5月	-	○
8. 公共交通体験プログラム〈電車とバスで高知をうろちよろ〉 6月	○	○
9. 防災訓練 6月	○	○
10. 婚活電車の運行 6月	-	○
<b>■2017年7月1日以降</b>		
1. 春・夏・冬休み! バスキッズ定期券販売開始 7月～	○	-
2. 子育て応援団～すこやか2017～ ブース出展 7月	○	○
3. ローラー活動(横内～福井) 7月	○	○
4. バスキッズイベント 7月・8月	○	-
5. 電停への「まんが観光案内板」設置 8月	-	○
6. とさっ子タウン2017 イベント出展 8月	○	○
7. ですかキャンペーン実施 9月～	○	○
8. 小学生を対象とした出前授業 9月	○	○
9. 交通安全ひろば ブース出展 9月	○	○



2017年4月～6月の公共交通に関する設備投資は、以下表のとおりです

【2017年度 設備投資計画実施内容】

単位：百万円

事業	計画			実施		備考
	投資計画総額	主な投資内容	投資計画額	投資実績額	投資目的・狙い	
路線バス	178	補助車両(5両)の購入	103	41	安全安心、利便性向上	補助車両(ノンステップバス2両)購入済み
		その他	75	0	安全安心、利便性向上	一宮BT建替、営業所管理システム導入他を予定
軌道	322	低床車両の購入	250	0	安全安心、利便性向上	年度中に1両購入予定
		車両冷房装置(2基)	17	0	利便性向上	年度中に2基設置予定
		き電線改良	11	0	安全安心	一条橋～小籠間
		ドライブレコーダー	9	0	安全安心	20両分を設置予定
		その他	35	4	安全安心他	鏡川橋梁耐震設計(調査を含む)、車両工場の電車屋根上点検施設改良および増設他
合計	500			45		

- 軌道の車両購入(1両：250百万円)は、再生計画上2016年度の投資予定であったが、車両メーカーの製造計画の関係で2017年度へ持ち越し
- 一宮BT建替は、棧橋集約費用の一部として2016年度に50百万円を予定していたが、土地売却計画遅延により2017年度へ持ち越し
- 路線バス低床化率 44.9%(平成29年6月末時点)【路線バス車両数136両(空港連絡除く)、うち低床車両61両】

【事業再生計画 設備投資計画進捗状況(累計)】

単位：百万円

		計画0期 15/3半期	計画1期 16/3期	計画2期 17/3期	計画3期 18/3期	計画4期 19/3期	計画5期 20/3期	累計	
路線バス	計画	109	151	111	111	111	111	703	
	実績	146	70	120	41			377	53.6%
軌道	計画	51	139	279	197	118	37	821	
	実績	51	125	116	4			296	36.1%